

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	国際環境政策論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	坂田裕輔						
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>学習・教育目標及び到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会で起こっている環境問題について、理論を背景にして説明できるようになる</li> <li>・新聞等、メディアに掲載された環境問題に関するニュースを、分析できるようになる</li> </ul> <p>この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー2-2、3-1、4-2の達成に関与しています。</p>						
日程と内容	<p>第1回 序論 講義全体の概要を解説し、環境問題を分析することに対するイメージを持つ。 予習内容：シラバスを読み、講義の準備を行う(60分) 復習内容：概要をまとめ、重点的に学びたい事項をリストアップする(120分)</p> <p>第2回 環境意識の展開(環境倫理) 予習内容：自分の知っている環境問題についてまとめる(60分) 復習内容：講義をもとにして、自分の自治体の分析を行う(120分)</p> <p>第3回 公害と環境問題 予習内容：飯塚の環境政策について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第4回 汚染と規制手法 予習内容：参考図書を読む(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第5回 責任と予見可能性 予習内容：公害問題における予見可能性について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第6回 経済成長がもたらす環境負荷 予習内容：経済成長の歴史をふりかえる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第7回 大気汚染、国際河川の汚染 予習内容：PM2.5について調べておく(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第8回 大量廃棄とごみ問題 予習内容：ごみ問題について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第9回 貿易 予習内容：貿易がもたらす環境問題について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第10回 水問題 予習内容：環境問題と水問題の関連について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第11回 気候変動問題の原因と国際政策 予習内容：気候変動問題について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第12回 気候変動問題の国内対策 予習内容：地域の気候変動対策について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第13回 エネルギーと資源問題 予習内容：地域における自然エネルギーの利用について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第14回 自然資源の問題、自然資本 予習内容：自然資本をどう管理すればよいか考える(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>第15回 地域経済と環境問題 予習内容：地域経済と環境問題について調べる(60分) 復習内容：講義を振り返ってノートをまとめる(120分)</p> <p>定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	30%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	50%	プレゼンテーション				
	課題	20%					
	演習		計		100%		
授業到達目標の達成度	70%						
反省点	レポートを課すことができなかった。						
来年度の計画	レポート課題を早めに設定し、課題を出したい。						
授業評価中間アンケートに対するコメント	実施なし						
授業評価アンケートに対するコメント	ちょうど平均前後だった。パワーポイントの抜粋を公開していたが、すべて公開すべきという意見がある。しかし、資源問題を考えると必要ない。必要なものは自分でノートを取るべきである。						
履修登録者数	91名	定期試験 受験者数	90名	合格者数	85名	合格率	94%